10.7 mon
10.8 tue
10.9 wed

10:30－12:30｜各2,000円｜森下スタジオ B ｜class｜

テクニック・クラス｜鈴木竜｜コンテンポラリー・バレエ

10.10 thu

10:30－12:30｜2,000円｜森下スタジオ B ｜class｜

テクニック・クラス｜鈴木竜｜コンテンポラリー・バレエ

19:00－21:00｜持ち寄り歓迎｜森下スタジオ B ｜party｜

オープニング・パーティー

マルテン・シュパンベルグを囲んで

10.11fri

10:30－12:30｜2,000円｜森下スタジオ B ｜class｜

テクニック・クラス｜鈴木竜｜コンテンポラリー・バレエ

19:00－｜1,500円｜森下スタジオ B ｜performance｜

即興と科学　グッド・タイミング

出演：

河村美雪（現代美術作家）

細馬宏通（ジェスチャー研究、滋賀県立大学教授）

ゲスト：未定

観客・ゲストを交えて、河村美雪が「インタビューや対話劇」のエチュードをしながら、それらの映像を、その場で細馬宏道が解析。何が「うまくいく対話」を作っているのかについて、通常では気づくことのできない言葉や身体の「タイミング」や「馴染む」現れ方を詳細に検証していく。それをふまえたフィードバックを行うことで、実演と記述のあいだに演出とは何か？を考え直す解析ショウ。

10.12 sat

10:30－12:30｜2,000円｜森下スタジオ B ｜class｜

テクニック・クラス｜宮河愛一郎｜Contact & Combination

16:00－19:00｜入場無料・予約不要｜
東京大学駒場キャンパス 21KOMCEE 101 ｜lecture｜

関連企画｜マルテン・シュパンベルグ《踊る講義》I

主催：東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻表象文化論コース

共催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属 共生のための国際哲学研究センター（UTCP）

「踊る講義：聞くダンス（The Dancing Seminar: A Listening Dance）」は、ニューヨーク近代美術館 MoMA PS1で開催された、マルテン・シュパンベルグによる12回に及ぶ3時間の長いセッション形式のパフォーマンスです。シュパンベルグは、理性や思考を感覚や直感とつなげながら、理論的要素をダンスの感性と結びつけていきます。そして動きやダンス、振付のなかにあるテーマを、労働や雇用、緊急性、経済、政治などの幅広い文脈に位置づけようとしています。振付という考えを拡張するのではなく、現実の実践としてのダンスやダンスの概念による思想の可能性が探求されていくのです。（※通訳あり）

10.13 sun

13:00－｜入場無料｜森下スタジオ B ｜performance｜

山崎広太 身体／言語ゼミ ショーイング
《トランスフォームする身体》

出演：Yotsuya Art Studium「山崎広太 身体／言語ゼミ」受講者

演出：山崎広太（振付家・ダンサー）

振付をダンサーに与えた時に、自分が作った確固としたムーブメントがいつの間にか変形＝トランスフォームしていることに気付く。まずある人の動作を言葉でスケッチしてみる。また、自分がパフォーマーとなったときにも絶えず言語化すること。そして、その言語を同じように空間に置いてみること。それは言語によって身体を通した自分と他者、空間との関係を再言語化、再身体化することだろう。トランスフォームする身体を意識的に考えたい。

15:00－｜1,000円｜森下スタジオ B ｜performance｜

前後（神村恵×高嶋晋一）パフォーマンス《質す［ただ-す］》

振付：前後（パフォーマンス・ユニット）

出演：若林里枝（ダンサー）

誰かに振付するとは、自分の質をそのひとに移植することだ。それにしてもなぜ、まるで言質をとるように、相手の一挙一動をなぞりながら、たえず問い質す必要があるのだろう。正しさを分別するのは、おそらくあなた本人であり、わたしはそこに但し書きをつけているだけだ。からだの質は、ただ、動きのなかにしかない。それは、ある問いに答えが返ってくるまでの隙間の時間、静止とみえるような状態のなかに、含まれている。

18:00－｜1,000円｜森下スタジオ B ｜performance｜

rendance 世代間の対話　※アフターパーティーあり

出演：アダチマミ、石黒節子、大倉摩矢子、川田夏実、木野彩子

アキオキムラ、古関すまこ、齋田美子、櫻井拓斗、新宅一平

杉田丈作、鈴木一琥、砂川佳代子、武元賀寿子、田中いづみ

田村智浩、中保佐和子、根岸由季、松本雄介、武藤容子 ほか

長年ダンスに貢献してきた方、これからの若いダンサー・振付家、舞台関係者など世代を超えたダンス関係者が一堂に会して、ダンスと言葉を紡ぐ公演。体験談をもとに話すこと、そこに存在することの二つの行為を同時に認識することで、新たなパフォーマンス性は可能なのかを問う。インディビジュアルな身体が発する言葉と交流。ティナ・クロールとジェンミー・カニングハムの「馬の口（Horse's mouth）」から着想を得たプログラム。

10.14 mon

10:30－12:30｜2,000円｜森下スタジオ B ｜class｜

テクニック・クラス｜宮河愛一郎｜Contact & Combination

14:30－17:30｜500円｜GALLERY OBJECTIVE CORRELATIVE
※予約申込先：近畿大学 四谷アート・ステュディウム 03-3351-0591 ｜lecture｜

関連企画｜マルテン・シュパンベルグ《踊る講義》II

主催：近畿大学国際人文科学研究所

>>>10.12参照

10.15 tue
10.16 wed

10:30－12:30｜各2,000円｜森下スタジオ B ｜class｜

テクニック・クラス｜宮河愛一郎｜Contact & Combination

10.17 thu

10:30－12:30｜1,500円｜森下スタジオ B ｜class｜

気功クラス｜齋田美子｜五禽戯（五つの動物の戯れ）

19:00－｜1,500円｜森下スタジオ B ｜performance｜

エクスペリメンタル・パフォーマンス day1

異なるバックグラウンドをもつアーティスト同士によるエクスチェンジ・プログラム。

――

出演：京極朋彦（ダンサー・振付家）×山崎阿弥（声のアーティスト、映像・造形作家）

なんの衒いもなく、コレをコレと言えるような、ソレをソレと呼べるような体と声。0からの風景。

――

演出：生西康典（演出家／美術家／映像作家）

演奏：外山明（ドラマー）

ダンス：伊佐千明（BATIK／21世紀ゲバゲバ舞踊団）×山崎広太（振付家・ダンサー）

刹那のリズムと刹那の踊り　未だ出会ってないリズムと踊り　踊りと踊りを　此処にいる人から　此処にいる人いない人達への捧げものとして

10.18 fri

10:30－12:30｜1,500円｜森下スタジオ B ｜class｜

気功クラス｜齋田美子｜五禽戯（五つの動物の戯れ）

20:00－｜1,500円｜森下スタジオ B ｜performance｜

アースラ・イーグリー公演
《Self Made Man Man Made Land》［初演：2012年］

振付・パフォーマンス：Ursula Eagly、瀬藤康嗣（音楽家）

photo: Anja Hitzenberger

ニューヨーク拠点の振付家アースラ・イーグリーと鎌倉拠点の音楽家、瀬藤康嗣による体感覚的なデュオ作品。イーグリーが長年探求している、歪みと流動、ぎこちなさと洗練、緩慢であり発作的である動きで構築される本作品は、ダンスで求められがちな統合された身体とは大きく異なり、自由に動き遊ぶ関節と、ばらばらに分離された身体を提示する。
抽象的であるが、所々に比喩的な瞬間があり、その点では抽象表現主義の彫刻家、ルイーズ・ブルジョワの影響も挙げられる。作品の構成は、回文のような作品タイトルの構成を反映したもので、前から読んでも後ろから読んでもほとんど同じであるように一見みえるが、実際のところ変化し、展開する。観客に、そのフォームの変化とともに引き起こされる意味合いの変化をじっくりと観察することを促す作品である。

10.19 sat

10:30－12:30｜1,000円｜森下スタジオ B ｜workshop｜

セルフ・コーチング・ワークショップ｜
新宅一平｜どうしようもないものをダンスにする

14:00－17:00｜500円｜森下スタジオ B ｜roundtable｜

ラウンドテーブル｜振付の肖像

ビジュアルアーティストにとって、ダンスとは何か身体とは何か。フェスティバルのテーマの即興、そして身体・社会をキーワードに、拡張する振付の領域をめぐって、美術家、評論家、振付家が対話を繰り広げるフェス唯一のセッション。振付の肖像を描きだす。

出演：アースラ・イーグリー（振付家、ダンサー、NYを拠点に活動）

マルテン・シュパンベルグ（スウェーデンの振付家）

神村恵（ダンサー・振付家、前後）、高嶋晋一（美術家、前後）

眞島竜男（現代美術作家）、大久保裕子（アーティスト／ダンサー）［予定］

武藤大祐（ダンス批評家、群馬県立女子大学准教授 美学、ダンス史・理論）

山崎広太（振付家・ダンサー、BAL）、印牧雅子（編集者、BAL）

18:00－｜1,000円｜森下スタジオ C ｜performance｜

土方巽「病める舞姫」をテクストにした作品

出演：

栩秋太洋（ダンサー・俳優・演出家）

西村未奈（ダンサー／振付家）

舞踏の創始者、土方巽（1928－86）の著書『病める舞姫』をテキストに、言語感覚-イメージと身体表現との関係、辺境における身体の風景への考察などをそれぞれの解釈で浮かび上がらせる。『病める舞姫』をノーテーション（舞踊譜）に作品上演することで、舞踏のメカニズムの可能性を探る。

20:00－｜1,500円｜森下スタジオ B ｜performance｜

アースラ・イーグリー公演
《Self Made Man Man Made Land》

>>>10.18参照

10.20 sun

10:30－12:30｜1,000円｜森下スタジオ C ｜workshop｜

セルフ・コーチング・ワークショップ｜
新宅一平｜どうしようもないものをダンスにする

14:30－｜500円｜森下スタジオ B ｜lecture & performance｜

小川水素レクチャー＋観客参加型パフォーマンス
《Minimum Movement Catalog》

小川水素の映像と文章による振付カタログ《Minimum Movement Catalog》。この作品創作のためのツールをレクチャーし、ライブで振付を作っていきます。カタログを元に観客参加による即興のコレオグラフィも試みます。即興を経由して振付が生み出されるダイナミズムに立ち会うプログラム。

16:00－｜1,000円｜森下スタジオ C ｜performance｜

マルテン・シュパンベルグ ソロ公演
《Powered by Emotion》［初演：2003年］

振付・出演：Mårten Spångberg

歌って踊りたいという欲望から、経験や技術力とは無関係に、既存作品を巻き込み、かつ作品自体のアイデンティティーや属性などの考察から生み出されたマルテン・シュパンベルグによるソロ作品。既存作品とその関係性への興味から、バッハのゴールドベルク変奏曲のためのスティーヴ・パクストンのダンス映画（監督：ウォールター・ヴァーディン）とブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブの音楽という確固たる評価をもつ、二つのアート作品が素材となっている。パフォーマーの無力さと、扱う素材に対しての困惑を通して、観客は自らの美的意識との新たな関わりを余儀なくされるだろう。観る者はスティーヴ・パクストンのダンスを、ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブの感傷的な愛の歌を体験しながら、同時に全く別のものを目撃するのだ。つまり《Powered by Emotion》は、徹底的に不自然な方法で生みだされる、究極に自然な形態の作品なのである。

18:00－｜1,000円｜森下スタジオ B ｜performance｜

田村友一郎の即興ストラクチャー公演《D.H.L》

振付：田村友一郎（写真・映像）

出演：石和田尚子、神村恵、柴一平、根岸由季、宮河愛一郎、山井絵里奈

映像作家・田村友一郎によって構築されたストラクチャーによる即興パフォーマンス。映像の視点を持ち込み、パフォーマンスアーティストへの遠隔からのインストラクションとフィードバックによる新たなストラクチャーの構築を模索する。

10.21 mon

10:30－12:30｜2,000円｜森下スタジオ C ｜class｜

テクニック・クラス｜藤井泉｜バレエクラス

14:00－17:00｜2,000円｜森下スタジオ C ｜class｜

インプロビゼーション・クラス｜JOU｜即興道場

10.22 tue

10:30－12:30｜2,000円｜森下スタジオ C ｜class｜

テクニック・クラス｜藤井泉｜バレエクラス

19:00－｜1,000円｜森下スタジオ C ｜performance｜

文月悠光の詩による公演《詩のからだ》

詩：文月悠光（詩人）

出演：伊藤知奈美（ダンサー）、JOU（コンテンポラリーダンス作家）

三東瑠璃（ダンサー・振付家）、矢嶋久美子（ダンサー、BATIKメンバー）

詩人文月悠光と4人のパフォーマーによる、詩とダンスの交感。

10.23 wed

10:30－12:30｜2,000円｜森下スタジオ C ｜class｜

テクニック・クラス｜藤井泉｜バレエクラス

19:00－｜1,000円｜森下スタジオ C ｜performance｜

有賀眞澄監修による連歌とダンス
《連歌体として虚実の自在に遊ぶ
身体（ダンス）と光と波（ことば）》

出演：文月悠光（詩人）、研生英午（俳人・評論家）

松島誠（パフォーマー・演出家）、島田桃子（女優、コリオグラファー）

西山友貴（振付家・ダンサー）、衣俯（人形作家）

有賀眞澄（タブロー・光象体作家　定型詩人）

連歌は中世以来、出会いと変化を旨とするコミュニケーションの可能態である。極小と極大に交感する連歌の遊戯性と儀式性、風景を同化・創発するダンスの自・他・場。

月読人・有賀眞澄

10.24 thu

10:30－12:30｜2,000円｜森下スタジオ B ｜class｜

テクニック・クラス｜藤井泉｜バレエクラス

10.25 fri

10:30－12:30｜2,000円｜森下スタジオ B ｜class｜

テクニック・クラス｜藤井泉｜バレエクラス

19:00－｜1,500円｜森下スタジオ B ｜performance｜

エクスペリメンタル・パフォーマンス day2

異なるバックグラウンドをもつアーティスト同士によるエクスチェンジ・プログラム。

――

出演：根岸由季（ダンサー・振付家）×正朔（舞踏家、Dance Medium所属）

人との出会いは直感。根岸さんのお母さんは秋田出身、そして正朔さんは土方（巽）さんから学んだ。この二つの共通項があるだけで充分リアルだと思うから。

――

出演：福留麻里（ダンサー）×大崎清夏（詩人）

変わりやすい天気や不意の一致に、一路に延びる線や波に、私たちは共通する神々しさを発見することがあります。あなたと同じ床の上に立ち、私たちの方法でそのことを告白する、初めての機会です。

10.26 sat

10:30－14:30｜4,000円｜森下スタジオ B ｜workshop｜

特別ワークショップ｜
クリスティン・ボナンセア・サウリュ｜即興ワークショップ

17:00－｜500円｜森下スタジオ B ｜performance｜

子供が大人に振付る

振付：櫻井拓斗（小学生・ダンサー）

出演：藤田善宏（振付家・ダンサー、コンドルズ）

子供が教える立場で、大人との新たな関係性の中からその発想を展開していく。振付する行為を介して、ダンス／コミュニケーションのあやを掬いとる。

19:00－｜1,500円｜森下スタジオ B ｜performance｜

クリスティン・ボナンセア ソロ公演
《FLOATERS#1》

振付・出演：Christine Bonansea

《FLOATERS#1》は現実の主観的な物の見方を表現した新作です 。現実を再現していく意識的な方策について問いかけます。内面と外面が循環する瞬間やその動きに焦点を置きます。内面と外面、自己と非自己、融合や混乱のはっきりしない境界の現象を明らかにしていきます。この新作は三部作の内の第一部作です。

「現実は単なる幻想にすぎない。非常にしつこいものではあるが」―
アルベルト・アインシュタイン

「聞く、見る、または経験する事はすべてどんな形であれあなたにとって固有なものである。あなたは知覚によって、宇宙を作成する。だから感知する宇宙のすべてはあなたにとって固有なものである」―ダグラス・アダムズ

10.27 sun

18:00－｜1,000円｜森下スタジオ B ｜performance｜

マルテン・シュパンベルグ共同新作公演

出演：西村未奈、三石祐子 ほか参加アーティスト

>>>参加者募集中 右欄を参照

参加者募集

creation

マルテン・シュパンベルグ｜共同新作公演

振付という領域を実験的な手つきで拡張するスウェーデンの振付家、マルテン・シュパンベルグ氏との新作共同クリエイションに参加するアーティストを広く募集！ 作品はウェン・ウェア・フェス2013で上演

ヨーロッパのウィーン・インパルスタンツ・フェスティバルをはじめとするダンスフェスティバルや美術館などのアートシーンで、絶大な影響力を誇るシュパンベルグ氏が初来日。ダンス・振付という既成概念を一度リセットし、今後のアーティスト活動に新たな指針を与えてくれるまたとない機会です。ダンスに限らず、他ジャンルのアーティストの方の積極的なご応募をお待ちします。選考あり。（※通訳アシスタントあり）

会場：森下スタジオ B
参加費：10,000円
日程（予定）：※日程は多少変動する可能性があります。
10.10［木］12:30－18:30｜10.12［土］12:30－14:30
10.15［火］15:30－21:30｜10.16［水］15:30－21:30
10.22［火］12:30－15:30｜10.23［水］12:30－15:30
10.24［木］12:30－18:30｜10.27［日］10:30－17:00
公演日時｜10.27［日］18:00－

応募方法：CV（活動歴）［日本語・英語］を、電話番号をお書き添えの上、以下アドレスまでE-mailにてお送りください。選考後に事務局よりE-mailでご連絡いたします。
bodyartslab@gmail.com
応募締切：2013年9月20日［金］

technique class

鈴木竜｜コンテンポラリー・バレエ

（ダンサー・振付家）

バレエの人にはコンテへの入り口として
コンテの人にはバレエとの新しい付き合い方として

バレエのクラス構成・基本に従いつつ、様々なコンテンポラリーテクニックの要素を加えて、形にとらわれず動物的な動きを追求するクラスです。フロアを使ったり、即興の要素が入ることもあります。主に背骨と骨盤の使い方、そしてフロアと重心の関係性を重視します。

日時：10.7, 10.8, 10.9, 10.10, 10.11｜10:30－12:30
料金：各2,000円　※各回受講可能なオープンクラス

technique class

宮河愛一郎｜Contact & Combination

（舞踊家、役者）

人と踊る時、相手の意思を汲み取る力と動きの観察力が必要となります。また同様に振り付けをもらい踊る時も振付家に対して同じ様な事が必要だと思います。
ContactとCombination「相手と向き合い自分を見つめる」
入口は違えど方向性が同じ二つを軸にしたワークショップです。

日時：10.12, 10.14, 10.15, 10.16｜10:30－12:30
料金：各2,000円　※各回受講可能なオープンクラス

class

齋田美子｜気功クラス｜五禽戯（五つの動物の戯れ）

（気功家）

中国伝統気功で、「熊」「鹿」「猿」「虎」「鶴」の型がある。外見をまねるのではなく、内なるエネルギーをまねることで、人の内に秘められている野生を呼び起こす。今は人間として生きているが、誰でも母の胎内では、生物の進化の全過程を通って生まれてくる。実はすべての生物とつながっていることを思い出させてくれる楽しい気功。型がありながら（逆に型があることで）即興性が重んじられている。

日時：10.17, 10.18｜10:30－12:30
料金：各1,500円　※各回受講可能なオープンクラス

workshop

新宅一平｜セルフ・コーチング｜
どうしようもないものをダンスにする

（振付家・ダンサー、ドドド・モリ主宰）

小道具や言葉を使って動く時に、どのようにすればそれがダンスとして成立するのか、おもしろおかしく探っていきたいと思います。物を使うのではなく物に使われてみる、頭ではなく動きからイメージの連鎖を生み出していく、体や物を間違って使ってみる、など視点をずらすことによって、真面目に阿呆になるためのステップを踏んでいきます。
経験は不問です。それぞれの段階で、ダンスの捉え方の幅が広がればと思います。

日時：10.19, 10.20｜10:30－12:30
料金：各2,000円　※各回受講可能なオープンクラス

technique class

藤井泉｜バレエクラス

（ダンサー・振付）

少しの意識と想像力で常にもう一つ向こう側へ。
自分の一歩を思うよりも少し遠くへ。
一生付き合っていく自分の体だからこそその可能性と変化を探っていきたいと思っています。

日時：10.21, 10.22, 10.23, 10.24, 10.25｜10:30－12:30
料金：各2,000円　※各回受講可能なオープンクラス

improvisation class

JOU｜即興道場

（コンテンポラリーダンス作家）

人生は即興の連続です。とにかく、やってみること。自分も周囲も、想定内では進まないのが人生です。その時、どう対処するのか？ それが即興。「即興道場」では、ノンストップ60分の即興を参加者全員で行います。終了後に、時間を取り、己の姿をきちんと見据え、受け入れ、経験をポ ジティブに活かす、という新しい習慣の会得に努めます。
Odorujouの極意「わくわく心躍る状態」を、積極的に探求していきましょう。

日時：10.21｜14:00－17:00
料金：2,000円

special workshop

クリスティン・ボナンセア｜即興ワークショップ

（フランス生まれの振付家／ダンサー）

ダンスにおける即興とは、瞬間的に自分の動きを構築していくことであり、それは事前に振付けられた作品を踊るのと同じように厳密でありうる、という仮定をこのワークショップでは探求していきます。即興パフォーマンスへの新たなアプローチを開発、探求する一方で、感覚を研ぎ澄まし、身体が“存在”の意識に、より効果的にたどりつけるよう手助けします。思考、動き、存在の関係を考え、身体の感覚をどのように受け取り変換するのか試していくことで、最終的には、身体的、心理的バリアを超え、自由な身体とより鋭敏な意識で、即興における決断ができるよう演習します。
リリーステクニックやコンタクト・インプロビゼーション、他のダンスメソッドを組み合わせたウォーム・アップから始まり、身体の調整を即興の演習につなげていきます。フロア・ワーク、重力の利用、逆の動き、その他のメソッドを活用しながら、3次元の空間の中で意識的に身体を扱う能力を開拓します。また、瞬間的にダンスを構築するツールとしてのスコアの発見や、コンポジションにおける古典的な側面、実験的な要素を詳しく見ることで、より具体的な即興のあり方を捉えることができるでしょう。

日時：10.26｜10:30－14:30
料金：4,000円